

第14回 桃太郎カップ水球 【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター

【2021/12/25】

女子3位決定戦

神奈川選抜 24

5	—	3
5	—	2
7	—	4
7	—	5
PSO		

14 春野水球クラブ

審判： 宇田川 佑里子
太田 一誠

神奈川選抜	36	SH数	35	春野水球クラブ
	19	速攻数	0	
	9	ST・SB	9	
	21	SH・P誘発アシスト	8	
	42%	GK阻止率	17%	
	14	EX反則数	0	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

総合力に勝る神奈川に対して、少ないチャンスをどれだけものにして食い下がるかの高知の対戦となった3位決定戦。8分4ピリオドの戦いとなるだけに、高知としてはスタミナがどれだけ持続できるかが課題。

1P

試合開始直後の神奈川の攻撃を防いで、逆に高知がローリー妹のドライブ攻撃で退水を誘発。そこを防いだ神奈川が速攻から中央に泳ぎ込んで得点を重ねるが、高知側もタイミングよくローリー妹のドライブで反撃して食い下がる展開（神奈川5-3高知）。このピリオド、高知側が退水を4本誘発して攻撃する健闘ぶりを発揮した。

2P

高知のローリー妹のプレーが止まらない。ピリオド前半、果敢に攻め上がったの退水誘発プレー、ミドルレンジからのシュート、ゴール前でのセンター攻撃など多彩な攻めで神奈川を翻弄したが、なかなか得点につながらず、退水攻撃もオーバータイムの連続で、そこを逆に神奈川に速攻を出されて失点を重ねてしまった。前半を終えて、神奈川10-5高知とダブルスコアで勝負は後半戦に。

3P

後半に入っても高知は果敢な攻撃で神奈川を苦しめ、神奈川側は退水者が続出。高知は退水攻撃での起点プレーができないためにオーバータイムが続き、そこを神奈川が速攻を繰り返すという展開となった。高知側はミドルレンジからのシュートの方が効果的と判断し、そうしたシュートで応戦して必死に食い下がった。それでもじりじり点差は広がり、神奈川17-9高知で最終ピリオドへ。

4P

両チームともにGKを交代させ、全員プレーで迎えた最終ピリオド。高知の攻撃に神奈川のディフェンスが対応できず、退水・ペナルティを奪われて、ピリオド前半は完全な高知ペース。しかし、神奈川もメンバー交代して確実に加点していくが、高知の前線の攻撃では最後まで退水が続き、点の取り合いとなった形で試合終了（神奈川24-14高知）。

大会を通じての女子最優秀選手賞には、4位となった高知のローリー選手が選ばれた。

【プレー分析から】

この試合ではエクスクルージョンが神奈川側だけとなり、それも14本にも及んだ。しかも対する高知は0本という極端な結果となった。高知側のディフェンスは体格差もあって、神奈川の攻撃を体を張って止めるということがなかったことこうした結果につながった。神奈川側のエクスクルージョンにはフリースロー妨害といったやや不注意なものも多く見受けられたが、高知側のドライブ攻撃への対応にも課題が残った。高知側は数多くの退水攻撃機会があったものの、ほとんどが時間切れとなり、そこを神奈川に速攻で突かれてしまったことを考えると、序盤段階でベンチ指示を与えるなどの対応も今後の課題であろう。